

第4回御前崎市学校再編検討委員会  
学校施設の視点

堀井啓幸(常葉大学)  
令和4年3月14日(月)



## 教育(学校)施設

### • 学校施設とは

「学校が一定の教育水準を確保し、その目的を達成するために必要な**物的組織**をいう。施設は一般に、土地・建物など大きく固定的な不動産物件を指し、設備はそれよりも比較的小さく、建物に付帯する可動的なものを意味する」拙稿「学校施設・設備」日本教育経営学会編『教育経営ハンドブック』ぎょうせい、1986

- 小学校設置基準9条(校舎に備えるべき施設) **教室、図書室、保健室、職員室、必要に応じて、特別支援学級のための教室**
- 同基準10条(その他の施設) **校舎及び運動場のほか、体育館**

### • 最先端の教育施設とは？

平成11～12年度文部科学省科学研究費補助金特別研究報告書『学校教育の新たな展開を支えるための学校施設の整備に関する調査研究』(研究代表者:後藤裕)より⇒**最先端の学校施設？**

新しい学校施設の形としてのオープンスクール:イギリスに小1プロブレムはない(フィーバーズファーム小学校)\*レセプションクラス



**施設整備(建築)の方法としての最先端**

ハイランズスクール:PFIを活用して建築された学校「民間事業者が資金調達、設計、建設、管理運営を行い、サービスを提供して公共部門からその対価を受ける」タイプの学校である。



トニーブレア首相(当時)「これがイギリスの学校だ」

■ 職員室



学校の維持管理を担当する民間企業から雇われている専門家が常駐し、維持管理を担当(PFI)



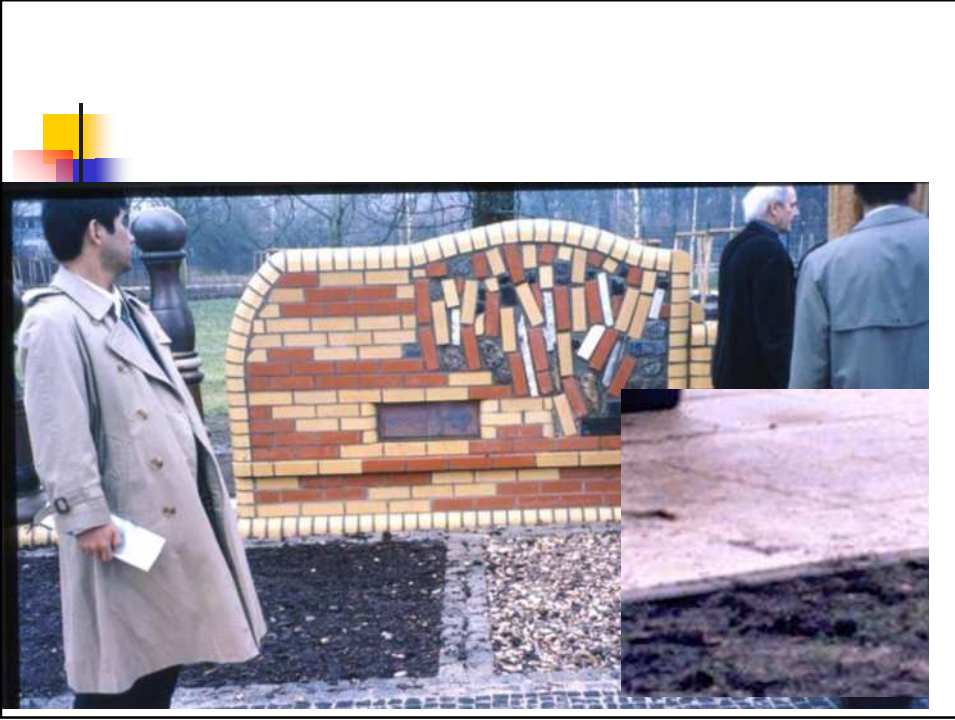
「学校内で最も大切な所」

■ 授業風景



# 統合教育

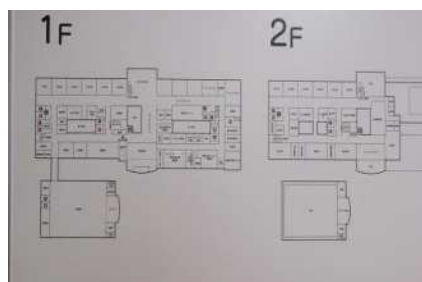
PAUL—UND—CHARLOTTE—KNIESE—  
SCHULE(elementary school,age6—12)



## 新潟県 十日町市立十日町小学校

住民からの要望で、県立であった特別支援学校を市立の特別支援学校とし、さらに市の発達支援センターも合築した複合施設型の小学校の事例

**特別支援学校:**平成18年度までは、盲・聾・養護学校は単一の障害種別に分類されていたが、平成19年度より複数の障害を対象とする特別支援学校など地域の実情に応じた設置が可能となった。



## 「共生」という学校の姿を具現化した十日町小学校の事例



## 設計の基本コンセプト

- ①交流と共生を可能とする、多彩でゆとりのある学習空間を備えた障がい者に優しい学校
- ②地域の特別支援教育推進の中核となる施設・設備を備えた学校
- ③環境に優しい、自然環境と融和したエコロジカルな学校
- ④十日町の伝統と歴史の香りがする地域に開かれた学校
- ⑤ICTの効果的な活用を可能とする学校・情報機器や図書館機能を併設したメディアセンター設置
- ⑥耐震や豪雪対策に配慮した地域の防災拠点となる学校

## 西小祭り(コミュニティ・スクール)



## 西小祭り



## ヒュー・ブラウン『英国建築物語』 晶文社(1950年)



■ 「二国の歴史を目に  
見える形で理解す  
るのに建築ほど重要  
なものはない。」



## 施設は理念の具現化

○子どもの個性を生かす学校⇒**オープンプランスクール**

○学校と家庭・地域の連携⇒**コミュニティ・スクール**

**複合化**:同一建物内又はどう一敷地内に、学校施設と社会教育施設、文化施設、スポーツ施設その他の文教施設を相互に機能的連携を保つ形態に整備すること(文科省通知、1991年)、公立小中学校の35%は複合化

バリアフリーから**ユニバーサルデザイン**へ:年齢、性別、国籍、個人の能力を問わず、誰もが可能な限り利用しやすいように最初から意図して機器、建築、空間などをデザインする考え方 By ロン・メイス

**ECO-SCHOOL**(2007～2005文科省事業):施設面一環境にやさしくつくる、運営面一賢く・永くつから、教育面一学習に資する⇒杉並区「環境共生型学校」(太陽光発電、屋上・壁面緑化、地中熱を利用した換気システム)

**ランニングコスト**:維持、点検、保守のための費用⇒公共施設マネジメントなどマクロな視点から電気代などミクロな視点までを含む

## ハードとソフト:オープンプランスクールの例 従来の学校組織から、子ども一人ひとりの個性を尊重する組織へ

### ①学校組織・集団組織の改善

- ・ 固定的なクラス集団 →
- ・ 画一的な生活集団 →
- ・ 一人の担任 →

### オープンプラン・スクールの条件整備

- 大・中・小の弾力的な集団
- 無学年制(多様な交流)
- ティーム・ティーチング(複数の担任)

### ②教育課程・授業方法の改善

- ・ 同一の内容・教科書中心→
- ・ 与えられた講座→
- ・ 一斉進度学習 →
- (画一的なクラス・時間割)
- ・ 受動的学習 →

- 多様な個別学習教材
- 講座選択制・課題研究
- 個別進度学習

自主的学習(教師は学習を援助する)「立つな、話すな、整えよ」(福光中部小学校)

### ③学校施設の改善

- ・ 固定的な教室構成 →
- (4間×5間の教室)
- ・ 閉ざされた教室の集合→
- ・ 授業の場としての教室→
- (机・椅子・黒板のみ)

多様な教室・フレキシブルな学習空間

連続的で多目的な学習空間  
多様な学習環境(多様な教材・教具)、生活の場